

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 25

千葉県立実籾高等学校 全日制の課程普通科

1 期待する生徒像

中学校生活で学ぶ基礎的な学習内容を身に付けており、基本的生活習慣が確立している生徒
実籾高校入学後も学習や部活動・生徒会活動等に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	1組あたり10分程度の集団面接

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	ア 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 イ 20点未満の教科がある場合は審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	ア 評定の合計値に算式1を適用した数値を用いる。 イ 第1～3学年の評定に1がある者は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録、行動の記録、特別活動の記録、部活動の記録、特記事項（技能審査・その他）	ア 基準により数値化したものを用いる。 イ 30点満点で評価する。 ウ いずれかの学年の年間の欠席が20日を超える者は、審議の対象とする。 エ 行動の記録に○が無い者は、審議の対象とする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
質問に対する返答の内容、姿勢・態度・その他	ア A B Cの3段階で評価する。 イ 評価Cの者は、審議の対象とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」等を総合的に判断して入学者の選抜を行う。

(ア) 学力検査の得点合計で順位をつけ、入学許可候補者の予定人員の80%以内をA組、それ以外をB組とする。

(イ) 評定合計値(算式1による)で順位をつけ、入学許可候補者の予定人員の80%以内をA組、それ以外をB組とする。

評価基準により審議の対象となる者を除き、(ア)及び(イ)について、いずれもA組の者を総合A組とし、入学許可候補者に内定する。総合A組以外を総合B組とし、それらを総合点(学力検査の得点・教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録等を数値化したものの合計)順に並べ、その他の資料を合わせて総合的に判断し、入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより不利益な扱いをすることのないよう十分留意する。

5 その他

過年度生については、個別に話を聞く機会を設ける。

平成28年度 後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 25

千葉県立実籾高等学校 全日制の課程普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	1組あたり10分程度の集団面接

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	ア 5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。 イ 20点未満の教科がある場合は審議の対象とする。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	ア 評定の合計値に算式1を適用した数値を用いる。 イ 第1～3学年の評定に1がある者は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録及び行動の記録等	ア いずれかの学年の年間の欠席が20日を超える者は、審議の対象とする。 イ 行動の記録に○が無い者は、審議の対象とする。

(3) 面接

評価項目	評価基準
質問に対する返答の内容、姿勢・態度・その他	ア A B Cの3段階で評価する。 イ 評価Cの者は、審議の対象とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成28年度千葉県公立学校入学者選抜実施要項による。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより不利益な扱いをすることのないよう十分留意する。

4 その他

過年度生については、個別に話を聞く機会を設ける。

